

# TRAIL

## いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」

第77号 2022年6月24日発行

いわき市産業振興部

**【全国】“持ち直しの動き”にはあるものの、先行きは諸コスト上昇等の数多い懸念を拭い去れない！**

**【いわき市】いまだ不振傾向！ 今後は、全国動向にみる懸念材料の影響で下振れの恐れ！**

**【経済・景気四方山話】水道事業を考える！**  
- コッセンション方式水道事業を踏まえて -

### ■ 全国動向

22年第Ⅰ四半期(1-3月)の「GDP速報値」(5/18)は、実質で前期比▲0.2% (年率▲1.0%) \*と2四半期ぶりのマイナス成長。“まん防”等で個人消費が伸び悩んだため。21年度通年では、実質で2.1%と3年振りのプラス成長。

総括判断である「月例経済報告」(5/20)の“基調判断”は、“持ち直しの動きがみられる”と先月を踏襲した。前四半期GDPはマイナス成長だったが、以降の個人消費や他分野の動向を反映させたもの。なお、新型コロナウイルス感染症に関する記述を同判断から削除し、政策運営の軸足を経済正常化へ移す姿勢を示した(“コロナ”の文字が消えたのはR2.3以降初めて)。先行きの懸念材料は、ウクライナ情勢の長期化、供給面での制約、原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等。

今後は、4月下旬からの行動制限の緩和による個人消費の回復見込み等からプラス成長に転じるとの見方が多いが、上記の懸念材料の動向からみると下降に転じるリスクを拭い去れない。その

意味で、「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」(R4.4)の確実な実施が求められる。

\* 2次速報値(6/8)は▲0.1% (年率▲0.5)に上方修正。

### ■ いわき市の動向

#### ● 経済・景気調査

今期(1-3月)も20年1-3月期以降続いている不振傾向にある。今後は、全国動向でみる懸念の影響を受け、下振れに向かう恐れがある。ただ、近々の景気ウォッチャー調査(R4.5)でみる限り、まだ上記の懸念材料の影響を受けていない。

#### 【需要動向】

大型小売店等販売額は4四半期連続、自動車新規登録台数も3四半期連続で減少。公共工事等受注額も年度末にもかかわらず大幅減。一方、新設住宅着工戸数は4四半期連続で増加で景気の下支えとなっている。こうしたなか観光が増加しており今後の増進が期待される。

#### 【企業動向】

小名浜港輸入通関、いわき中央卸売市場取扱額、法人市民税がプラス。だが手形交換額は連続してマイナスで商取引は不振。中小企業融資残高と信用保証承諾額が連続減少のなか、信用保証代位弁済額が大きく増加、中小企業の資金繰り難がうかがい知れ、今後の成り行きが懸念される。

#### 【雇用動向】

雇用は新規・有効とも求人倍率がプラス。雇用保険受給者も減少。雇用面は悪くない。

#### ● 景気ウォッチャー調査('22年5月時点)

現状DIは、全業種が前期に比べ24.40ポイント増加。

部門では飲食とサービスの増加幅が大きい。先行きDIは全業種で同3.5ポイントの増加。全体的に増加期待は控えめ。なお住宅は

マイナス期待。「自由意見」では、“コロナとの共存”を前向きにとらえる意見が多い。

景気ウォッチャー調査('22/5)

区分	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	前回差	今回	前回差
全業種	52.4	24.4	53.8	3.5
家計	54.5	31.4	52.5	0.2
小売	54.5	27.3	54.3	1.0
飲食	75.0	50.0	75.0	10.0
サービス	56.9	39.0	51.4	3.8
住宅	33.3	8.3	33.3	-21.7
企業	48.4	6.7	56.3	14.6
雇用	45.8	8.3	58.3	4.1

「自由意見」では、“コロナとの共存”を前向きにとらえる意見が多い。

(産業創出課)

### 目次

全国動向：“持ち直しの動き”にあるが、先行きは諸コスト上昇等の数多い懸念を拭い去れない！	
いわき市の動向：いまだ不振傾向！ 今後は、全国動向に見る懸念材料の影響で下振れの恐れ！	
経済・景気四方山話：水道事業を考える！	
- コッセンション方式水道事業を踏まえて -	
I 経済・景気調査：2022年第1四半期(1-3月)	
1. 経済の動き(主要部門別・主要経済データ)	3
2. 景気の動き(景気動向指数)	9
【参考】景気動向指数の内容 - 国・県の動き -	
II 景気ウォッチャー調査：2022年5月時点	16

## ■ 経済・景気四方山話：水道事業を考える！ - コッセション方式水道事業を踏まえて -

上水道等インフラ施設の老朽化が激しい。全国の老朽水道管の全水道管に占める割合は、H21年度からの10年間に7.1%から19.1%に跳ね上がっている。これに対しR1年度に交換されたのは0.67%で、すべて交換するには約150年かかる計算となるという（日本水道協会等）。

最近、上水道事業の“入る”を水道料金値上げで増やし、“出づる”を他市町村との事業統合等で費用を下げて、事業経営を維持しようとする自治体は多い。その根底で、給水人口の急速で減少による事業環境経営の厳しさから、水道料金を更なる値上げによって水道事業経営を維持しなければならないとする事情がある。

こうした中、宮城県のコンセッション方式<sup>\*1</sup>（以下“コ方式”）による水道事業の民営化（R4.4事業開始）が話題となった。“コ方式”はPFIの一つで、自治体が水道施設を所有したまま、民間事業者に運営権を包括委託する。

宮城県のケースは、企業局所有の上水道（水供給施設のみ。市町村の水道事業業務は従来通り）、下水道及び工業用水等の施設の所有権を県が所有したまま、その運営権を民間事業者に20年間、運営を委嘱するというもの。主な利点は、①総事業削減（20年間で約337億円）、②運営コスト削減（上昇抑制効果10～20円）、③運営権売却対価10億円である。

計画推進の過程では、民間経営による効率重視で、①安易に水道料金が上がらないか、②老朽水道管の更新が進むのか、③雇用は守られるのか、④災害等の際のリスク分担は大丈夫か、など多くの課題がでた。これらの課題は、県による事業計画の管理・監督・指導や条例等の規制で“細心の縛り”を施すことで解決し、本年4月からの事業実施に至っている。

<sup>\*1</sup> 本誌No.42“コンセッション方式PFI”（H25.9）を参照。

一般に水道事業は、ナショナルミニマム（国が国民に保証する最低限の基準）であるにも関わらず、受益者負担が色濃い独立採算制となっている。経営に必要な経費は水道料で賄われ、資金不足は企業債発行等で調達される（返済は水道料金収入）。原則一般会計からの補助はない。従って、配水管の維持更新費用は水道料金で賄われることになり、水道事業経営の健全性は重要である。

本市の現状の水道事業は、一例としてR2年度の経常収支比率<sup>\*2</sup>（事業経営の収益力を表す）で見れば、類似団体の平均114%に対して118%となっていて、比較的良好といえよう。水道料料金の値上げは、H19年のただ1回、9.8%の値上げだけで収まっている。ただし、管路経年化率は同23.6%に対して同26.2%と良くない。

今後は、これまで以上に厳しい事業環境が想定され、この中でより健全な事業経営が求められる。これに関し、R3.11、水道事業経営審議会（市長諮問・答申組織）の「答申」は、“R9年度から資金不足が生じる”ので、“水道料金水準や企業債充当率の見直しなどを踏まえた“新たな経営計画”の策定を求めている。これまで市は、高い現状・将来分析力と的確な対応・対策で、質の高いPDCA<sup>\*3</sup>を遂げてきたが、今後は、これまで以上の努力が求められる。その際、“コ方式”のほか、急激な値上げの緩和を目的にした基金方式等を含め、既存のフレームを超えたスキーム等幅広い視点からの検討も必要であろう。いずれにしても、幅広く精度の高い検討を期待したい。

次いでだが、水道料金値上げが老朽水道管更新に直結していることを、市民はあまり感じていないように思う。今後は、難しい水道事業会計をうまく説明し、水道料金値上げの意味づけが市民に理解されるよう、一層の工夫が必要ではないか。

<sup>\*2</sup> 「総務省の「経営比較分析表」を活用した本市の現状分析」（2017-2026新・いわき市水道事業プラン）」（総務省基準）。

<sup>\*3</sup> Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善）を循環させ、持続的な経営を図る手法。

（東日本国際大学名誉教授 大川信行）

### 【お知らせ】 経済指数の一部を改定しました！

経済・景気の動向は、経済事象を複数の指数にした指数群の経年動向を分析して得る。経済事象は、産業構造によって変化するから、これを採用指数が説明できているか、を時々検証する必要がある。

採用指標の実際の動向とのズレは、景気の先行・一致・遅行について過去に遡って検証した。その結果、中小企業融資残高（先行→一致）、鉱工業在庫（一致→遅行）、中小企業DI・全業種（一致→先行）、公共工事受注額（遅行→一致）、観光施設利用者（遅行→一致）の5指標を括弧内のように入れ替えた。

また、他組織の類似調査で使っている指数等を逐一検討したが、新たに採用できる指標はなかった。

以上の見直しにより、並行して実施して景気ウォッチャー調査結果と相俟って、より説明力がある景気判断ができるようになった（改定は'22年度から反映。本号は上記改定後の数字）。

産業創出課

# I 経済・景気調査：令和4年第 I 四半期（1～3月）

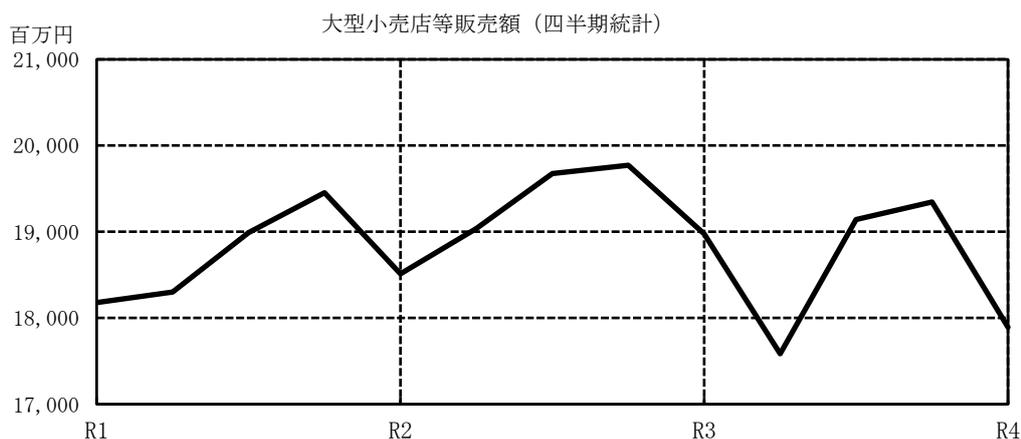
## 1 いわき市の経済の動き

### （1） 主要部門の動向（令和4年第 I 四半期（1～3月）の状況）

#### ① 需要動向

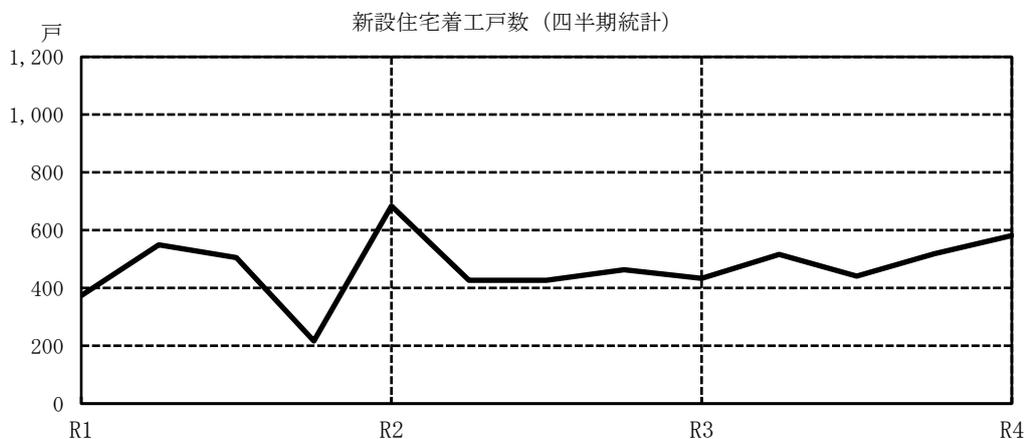
【個人消費】 ○ 第 I 四半期（1～3月）の大型小売店等販売額は約179億円（前年同期比5.7%の減少）となり、4四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 自動車新規登録台数は4,595台（前年同期比17.1%の減少）となり、3四半期連続で前年の水準を下回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は582戸（前年同期比34.1%の増加）となり、4四半期連続で前年の水準を上回った。

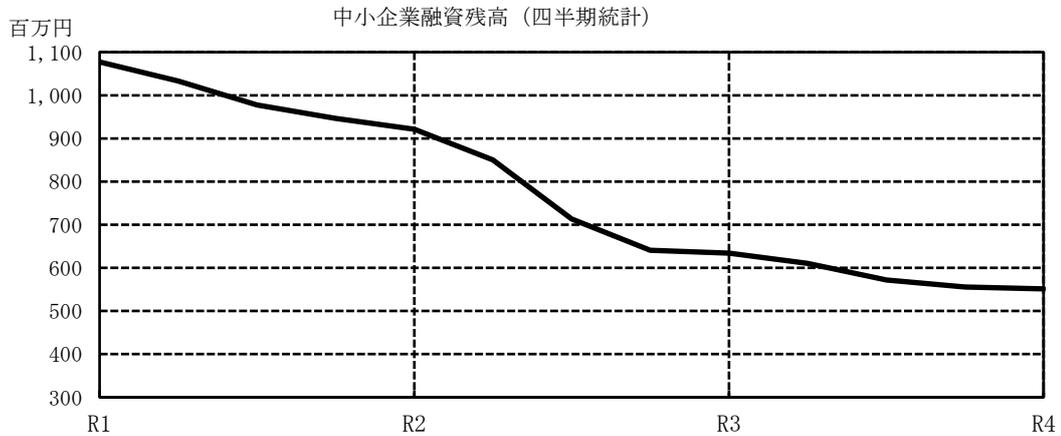
○ 公共工事等受注額は約105億円（前年同期比80.2%の減少）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。



【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、43.4（前年同期比38.3%の上昇）となり、3四半期振りに前年の水準を上回った。

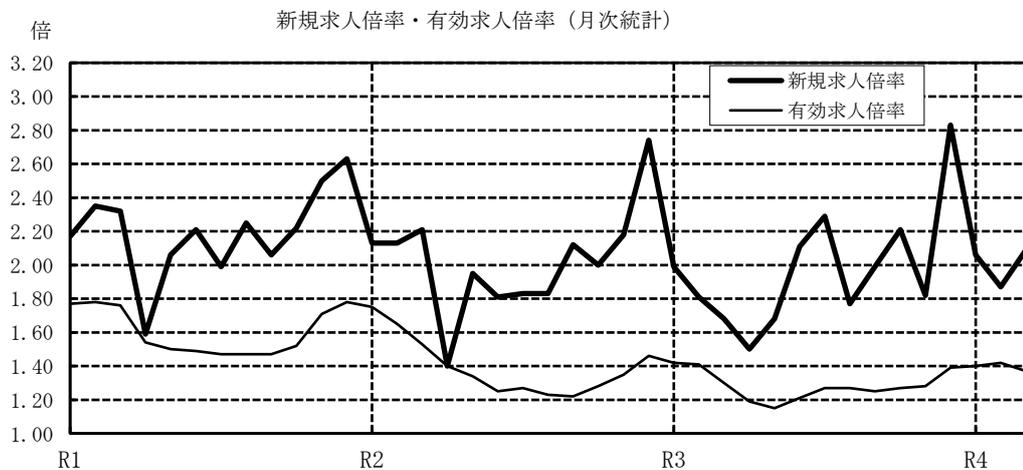
## ② 企業動向

- 【生産活動】** ○ 第 I 四半期（1～3月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約31億円（前年同期比5.0%の増加）となり、2四半期連続で前年の水準を上回った。
- 【企業活動】** ○ いわき市中小企業融資残高は約5.5億円（前年同期比13.0%の減少）となり、平成31年第 I 四半期以来、13四半期連続で前年の水準を下回った。
- 負債1千万円以上の企業倒産件数は4件（前年同期比100%の増加(=悪化)）となり2四半期連続で前年の水準を上回った(悪化した)。



## ③ 雇用情勢

- 【雇 用】** ○ 3月の新規求人倍率は2.09倍（前年同月より0.41ポイントの上昇）となり、4ヵ月連続で前年の水準を上回った。
- 3月の有効求人倍率は1.37倍（前年同月より0.07ポイントの上昇）となり、2ヵ月連続で前年の水準を上回った。
- 第 I 四半期（1～3月）の雇用保険受給者実人員は3,248人（前年同期比7.0%の減少(=改善)）となり5四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。



(2) 主要経済データ

区分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小売店等販売額	前年同期比	自動車新規登録台数	前年同期比	新設住宅着工戸数	前年同期比	建築確認申請受付件数	前年同期比	公共工事等受注額	前年同期比	観光施設利用者指数	(H24・四半期平均=100)	前年同期比	入湯税調定人員
(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)		(%)	(人)	(%)	
【年次統計】														
平成29年	79,785	-2.4	20,681	3.2	3,448	0.8	1,467	-5.9	42,827	-12.8	398	0.2	696,264	-1.4
平成30年	77,103	-3.4	20,332	-1.7	2,417	-29.9	1,292	-11.9	23,677	-44.7	395	-0.8	678,555	-2.5
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	367	-6.9	640,323	-5.6
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3
【四半期統計】														
令和2年 II	19,037	4.0	3,347	-25.1	427	-22.4	237	-19.1	7,978	93.6	10.8	-88.0	31,310	-79.1
III	19,677	3.6	4,585	-12.6	427	-15.4	288	5.9	9,350	-0.3	66.4	-48.1	55,549	-67.1
IV	19,772	1.6	4,542	-15.2	463	113.4	248	12.7	16,283	68.6	62.6	-16.2	111,954	-27.9
令和3年 I	18,974	2.5	5,541	-1.6	434	-36.5	279	25.7	53,279	283.6	31.4	-42.9	57,466	-64.3
II	17,586	-7.6	3,745	11.9	517	21.1	273	15.2	6,251	-21.7	36.6	238.2	50,519	61.4
III	19,144	-2.7	3,597	-21.5	441	3.3	270	-6.3	13,313	42.4	47.4	-28.7	85,941	54.7
IV	19,347	-2.1	3,435	-24.4	519	12.1	255	2.8	15,028	-7.7	61.6	-1.6	107,458	-4.0
令和4年 I	17,893	-5.7	4,595	-17.1	582	34.1	239	-14.3	10,527	-80.2	43.4	38.3	88,479	54.0
【月次統計】														
令和2年4月	6,185	2.8	1,124	-16.9	165	13.8	80	-23.8	730	-38.2	1.9	-93.0	20,442	-60.0
5月	6,434	4.5	851	-42.4	66	-25.8	66	-31.3	2,246	145.7	0.7	-98.0	7,694	-83.9
6月	6,418	4.8	1,372	-16.1	196	-38.0	91	-1.1	5,002	147.0	8.2	-70.0	3,174	-93.8
7月	6,405	4.5	1,485	-11.6	152	-29.3	94	0.0	3,188	46.6	17.5	-45.5	8,779	-80.8
8月	7,047	5.1	1,243	-14.8	148	87.3	95	11.8	2,668	-1.8	26.8	-57.9	18,273	-63.2
9月	6,225	1.2	1,857	-11.7	127	-39.8	99	6.5	3,494	-22.1	22.1	-31.5	28,497	-61.1
10月	6,223	4.8	1,633	26.7	174	21.7	87	22.5	4,170	-22.1	20.2	-9.6	35,442	-35.9
11月	6,005	0.7	1,588	-32.0	154	1,084.6	80	23.1	2,038	-19.6	23.5	-9.0	37,682	-21.2
12月	7,544	-0.2	1,321	-23.7	135	121.3	81	-3.6	10,075	469.4	18.9	-28.8	38,830	-25.6
令和3年1月	6,470	7.1	1,494	-8.9	83	-53.4	78	8.3	2,538	33.8	8.6	-64.6	19,058	-65.5
2月	6,025	1.8	1,743	1.5	220	-40.2	90	23.3	38,845	1,453.2	8.5	-61.9	14,694	-74.2
3月	6,479	-1.1	2,304	1.3	131	-5.1	111	44.2	11,897	25.3	14.3	69.6	23,714	-51.6
4月	5,743	-7.1	1,276	13.5	175	6.1	84	5.0	1,739	138.1	11.2	474.4	16,285	-20.3
5月	6,047	-6.0	1,187	39.5	165	150.0	86	30.3	1,505	-33.0	13.0	1,789	16,890	119.5
6月	5,796	-9.7	1,282	-6.6	177	-9.7	103	13.2	3,007	-39.9	12.3	51.0	17,344	446.4
7月	6,389	-0.2	1,351	-9.0	147	-3.3	90	-4.3	4,989	56.5	21.0	20.4	27,895	217.7
8月	6,691	-5.1	1,082	-13.0	154	4.1	80	-15.8	2,844	6.6	16.7	-37.9	33,102	81.2
9月	6,064	-2.6	1,164	-37.3	140	10.2	100	1.0	5,480	56.8	9.6	-56.3	24,944	-12.5
10月	6,108	-1.8	1,009	-38.2	186	6.9	88	1.1	10,798	158.9	17.8	-11.7	33,000	-6.9
11月	5,855	-2.5	1,342	-15.5	119	-22.7	87	8.7	1,029	-49.5	21.6	-8.3	34,851	-7.5
12月	7,384	-2.1	1,084	-17.9	214	58.5	80	-1.2	3,201	-68.2	22.2	17.4	39,607	2.0
令和4年1月	5,976	-7.6	1,302	-12.9	323	289.2	72	-7.7	1,722	-32.2	16.3	89.9	39,607	107.8
2月	5,594	-7.2	1,378	-20.9	125	-43.2	68	-24.4	2,650	-93.2	9.3	9.9	32,721	122.7
3月	6,323	-2.4	1,915	-16.9	134	2.3	99	-10.8	6,156	-48.3	17.8	24.1	16,151	-31.9
出典:	いわき市産業創出課		いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部		いわき市産業創出課(市内主要観光施設の利用者数を指数化)		いわき市市民税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
 四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市中央卸売市場取扱高		小名浜港輸入通関実績		いわき市中小企業融資残高		いわき市中小企業融資利率		信用保証承諾額		信用保証協会代位弁済		手形交換高	
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】														
平成29年	14,058	-1.1	319,842	42.3	1,207	-2.3	1.94	-0.1	15,790	-7.5	496	-18.5	121,254	-5.7
平成30年	13,933	-0.9	378,337	18.3	1,155	-4.3	2.04	0.1	18,640	18.1	602	21.6	118,174	-2.5
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1	114,743	-2.9
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	108,605	-5.3
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	94,290	-13.2
【四半期統計】														
令和2年 II	3,078	-7.0	89,268	-11.3	851	-17.7	2.20	0.01	27,678	433.4	113	12.2	30,644	-5.0
III	3,587	4.4	82,469	0.7	713	-27.0	2.20	0.15	21,271	272.8	142	-26.2	26,236	-10.5
IV	4,054	16.8	75,231	-2.9	641	-32.3	2.20	0.12	12,703	133.9	63	-48.6	23,588	-6.9
令和3年 I	3,000	6.0	69,240	-7.2	634	-31.2	2.10	0.10	18,749	197.1	113	-53.4	24,504	-12.9
II	3,287	6.8	77,893	-12.7	610	-28.2	2.18	-0.02	7,023	-74.6	19	-83.4	26,962	-12.0
III	3,422	-4.6	106,699	29.4	572	-19.8	1.82	-0.38	6,050	-71.6	42	-70.3	22,493	-14.3
IV	4,221	4.1	101,305	34.7	555	-13.4	2.20	0.00	5,224	-58.9	46	-26.1	20,330	-13.8
令和4年 I	3,149	5.0	102,907	48.6	551	-13.0	2.02	-0.08	6,536	-65.1	265	134.3	21,543	-12.1
【月次統計】														
令和2年4月	970	-17.5	29,469	-25.7	888	-15.4	2.20	0.04	3,832	160.9	49	-	10,292	0.4
5月	1,039	-1.3	33,087	14.7	868	-15.9	-	-	10,263	484.4	64	-33.2	8,296	-38.6
6月	1,069	-1.2	26,712	-16.9	795	-21.9	-	-	13,582	591.6	0	-100.0	12,057	41.9
7月	1,225	6.5	29,546	-6.5	740	-25.6	-	-	9,497	377.9	15	-80.9	9,067	-19.0
8月	1,260	2.3	20,951	-5.5	717	-25.5	2.20	0.00	6,376	283.5	0	-100.0	9,170	11.1
9月	1,102	4.6	31,972	13.7	684	-29.8	2.20	0.45	5,397	162.5	127	38.2	7,998	-18.8
10月	1,141	11.2	32,673	61.9	660	-31.0	2.20	0.00	4,270	170.6	15	-41.3	5,807	-28.5
11月	1,011	-9.8	25,594	-18.3	640	-32.2	-	-	3,640	121.3	13	-79.9	9,345	34.5
12月	1,902	43.7	16,964	-34.6	622	-33.7	2.20	0.35	4,793	117.2	35	2.6	8,436	-17.8
令和3年1月	942	-5.3	20,031	-8.2	632	-31.9	2.20	0.00	2,314	45.7	56	290.5	7,056	-30.5
2月	974	28.6	23,844	-5.6	641	-30.7	2.20	0.60	5,005	200.1	2	-97.5	7,192	6.1
3月	1,084	0.5	25,365	-7.9	628	-31.0	1.90	-0.30	11,430	274.3	55	-66.7	10,256	-8.5
4月	1,133	16.7	25,825	-12.4	622	-30.0	2.20	0.00	3,559	-7.1	0	-100.0	8,579	-16.6
5月	1,104	6.3	24,688	-25.4	611	-29.6	2.20	-	1,289	-87.4	0	-100.0	9,886	19.2
6月	1,051	-1.7	27,380	2.5	599	-24.7	2.15	-	2,175	-84.0	19	-	8,497	-29.5
7月	1,259	2.8	28,733	-2.8	579	-21.8	2.20	-	2,039	-78.5	13	-11.6	5,561	-38.7
8月	1,128	-10.4	33,659	60.7	584	-18.5	1.55	-0.65	1,420	-77.7	7	-	10,362	13.0
9月	1,035	-6.1	44,307	38.6	553	-19.1	1.70	-0.50	2,591	-52.0	22	-82.6	6,570	-17.9
10月	1,141	0.0	42,892	31.3	540	-18.1	-	-	1,290	-69.8	0	-100.0	4,971	-14.4
11月	1,202	18.9	26,434	3.3	566	-11.6	2.20	-	1,538	-57.8	5	-58.5	7,975	-14.7
12月	1,877	-1.3	31,979	88.5	560	-10.1	2.20	0.00	2,396	-50.0	41	16.5	7,385	-12.5
令和4年1月	1,025	8.8	37,863	89.0	552	-12.6	1.95	-0.25	1,212	-47.6	45	-19.5	7,312	3.6
2月	975	0.1	27,215	14.1	542	-15.4	-	-	1,614	-67.7	206	-	6,410	-10.9
3月	1,149	6.0	37,829	49.1	559	-11.0	2.09	0.19	3,709	-67.6	13	-76.0	7,821	-23.7
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）	横浜税関		いわき市産業創出課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき手形交換所		

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計において I は1～3月、II は4～6月、III は7～9月、IV は10～12月を示す。

区 分	企業動向											
	企業活動		倒産				中小企業DI調査					
	法人市民税調		企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	定額	前年同期比		前年同期比	総額	前年同期比						
年月	(百万円)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】												
平成29年	4,610	1.7	9	12.5	2,295	-69.6	-	-	-	-	-	-
平成30年	5,111	10.9	15	66.7	9,581	317.5	-	-	-	-	-	-
令和元年	4,101	-19.8	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	4,199	2.4	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	3,312	-21.1	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和2年 II	1,434	12.6	2	-60.0	55	-85.5	-	-	-	-	-	-
III	1,125	22.3	4	100.0	313	745.9	-	-	-	-	-	-
IV	1,099	-19.4	3	0.0	189	139.2	-	-	-	-	-	-
令和3年 I	392	-27.7	2	-60.0	198	-68.5	-	-	-	-	-	-
II	1,223	-14.7	2	0.0	165	200.0	-	-	-	-	-	-
III	862	-23.4	2	-50.0	545	74.1	-	-	-	-	-	-
IV	836	-23.9	4	33.3	467	147.1	-	-	-	-	-	-
令和4年 I	459	17.1	4	100.0	578	191.9	-	-	-	-	-	-
【月次統計】												
令和2年4月	170	8.7	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
5月	301	-6.5	1	0.0	26	-87.0	-	-	-	-	-	-
6月	963	21.1	1	-66.7	29	-76.6	-71.0	-30.0	-45.5	-70.0	-90.6	-64.4
7月	647	34.8	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
8月	345	-1.8	2	-	88	-	-	-	-	-	-	-
9月	133	50.7	2	100.0	225	2,150.0	-66.6	-50.0	-81.8	-41.6	-60.0	-61.7
10月	112	-13.7	1	-50.0	90	60.7	-	-	-	-	-	-
11月	915	1.5	2	-	99	-	-	-	-	-	-	-
12月	72	-78.3	0	-100.0	0	-100.0	-59.4	-40.0	-50.0	-80.0	-70.0	-59.8
令和3年1月	84	0.5	1	-75.0	188	-68.3	-	-	-	-	-	-
2月	122	-17.0	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
3月	186	-40.3	0	-100.0	0	-100.0	-26.7	-16.6	-44.4	-75.0	-70.0	-41.3
4月	110	-35.3	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	293	-2.6	2	100.0	165	534.6	-	-	-	-	-	-
6月	820	-14.8	0	-100.0	0	-100.0	0.0	-10.0	-37.5	-54.6	-20.0	-17.7
7月	422	-34.7	1	-	260	-	-	-	-	-	-	-
8月	340	-1.5	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
9月	100	-25.2	1	-50.0	285	26.7	-18.5	-20.0	-25.0	-60.0	-66.7	-32.8
10月	78	-29.8	2	100.0	116	28.9	-	-	-	-	-	-
11月	703	-23.2	2	0.0	351	254.5	-	-	-	-	-	-
12月	55	-24.2	0	-	0	-	3.0	-22.2	-20.0	-33.3	-30.0	-12.7
令和4年1月	111	32.4	2	100.0	365	94.1	-	-	-	-	-	-
2月	132	8.4	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	216	15.9	2	-	213	-	-7.4	-30.8	-25.0	-33.3	-50.0	-23.8
出典：	いわき市市民税課(法人税割)	東京商工リサーチ(負債総額1,000万円以上)				福島県産業振興センター(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査						

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計においてIは1~3月、IIは4~6月、IIIは7月~9月、IVは10~12月を示す。

区 分	雇 用						そ の 他					
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)			
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	家計動向	企業動向	雇用関連	総合	
年 月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)				
【年次統計】												
平成29年	2.12	-0.02	1.59	-0.08	14,073	1.0	12,117	-0.5	-	-	-	-
平成30年	2.21	0.09	1.62	0.03	13,079	-7.1	10,170	-16.1	-	-	-	-
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-
令和3年	-	-	-	-	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和2年 II	-	-	-	-	3,830	13.1	1,531	-32.0	-	-	-	-
III	-	-	-	-	4,558	23.6	2,041	-17.9	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,869	10.5	2,068	-14.1	-	-	-	-
令和3年 I	-	-	-	-	3,493	-2.2	1,801	-15.0	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,791	-1.0	1,787	16.7	-	-	-	-
III	-	-	-	-	4,011	-12.0	1,806	-11.5	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,513	-9.2	2,033	-1.7	-	-	-	-
令和4年 I	-	-	-	-	3,248	-7.0	1,747	-3.0	-	-	-	-
【月次統計】												
令和2年4月	1.40	-0.19	1.40	-0.14	1,161	9.5	488	-35.2	-	-	-	-
5月	1.95	-0.11	1.34	-0.16	1,162	0.6	450	-42.3	40.0	43.3	57.1	42.2
6月	1.81	-0.40	1.25	-0.24	1,507	28.7	593	-17.3	-	-	-	-
7月	1.83	-0.16	1.27	-0.20	1,564	22.4	671	-15.5	-	-	-	-
8月	1.83	-0.42	1.23	-0.24	1,514	23.2	691	-24.6	42.0	31.7	33.3	39.2
9月	2.12	0.06	1.22	-0.25	1,480	25.3	679	-12.4	-	-	-	-
10月	2.00	-0.22	1.28	-0.24	1,389	21.5	704	-13.9	-	-	-	-
11月	2.18	-0.32	1.35	-0.36	1,255	7.6	699	-12.9	38.8	30.4	46.4	38.0
12月	2.74	0.11	1.46	-0.32	1,225	2.9	664	-15.5	-	-	-	-
令和3年1月	1.99	-0.14	1.42	-0.33	1,215	-2.5	555	-25.1	-	-	-	-
2月	1.81	-0.32	1.41	-0.24	1,131	2.2	557	-19.3	46.8	38.5	62.5	46.6
3月	1.68	-0.53	1.30	-0.23	1,147	-5.8	690	0.0	-	-	-	-
4月	1.50	0.10	1.19	-0.21	1,244	7.1	610	24.9	-	-	-	-
5月	1.68	-0.27	1.15	-0.19	1,196	2.9	573	27.4	48.8	43.4	53.6	48.0
6月	2.11	0.30	1.21	-0.04	1,351	-10.4	603	1.7	-	-	-	-
7月	2.29	0.46	1.27	0.00	1,357	-13.2	664	-1.1	-	-	-	-
8月	1.77	-0.06	1.27	0.04	1,374	-9.2	579	-16.2	36.6	45.6	41.7	38.9
9月	1.99	-0.13	1.25	0.03	1,280	-13.5	563	-17.1	-	-	-	-
10月	2.21	0.21	1.27	-0.01	1,215	-12.5	657	-6.7	-	-	-	-
11月	1.82	-0.36	1.28	-0.07	1,137	-9.4	681	-2.6	55.8	45.0	54.2	53.4
12月	2.83	0.09	1.39	-0.07	1,161	-5.2	695	4.6	-	-	-	-
令和4年1月	2.06	0.07	1.40	-0.02	1,089	-10.4	596	7.5	-	-	-	-
2月	1.87	0.06	1.42	0.01	1,027	-9.2	502	-9.9	52.3	41.7	54.2	50.3
3月	2.09	0.41	1.37	0.07	1,132	-1.3	649	-5.9	-	-	-	-
出典：	ハローワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業創出課（H30.1調査開始）景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。			

## 2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和4年第Ⅰ四半期（1～3月）の状況）

### （1）C I（コンポジット・インデックス）

#### ① 概要

3月のCIは、先行指数が99.6、一致指数が75.9、遅行指数が82.4となった。

#### ② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】3月は99.6ポイントで、2ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、建築確認申請受付件数（2ヵ月振り）、新規求人倍率（3ヵ月振り）等の5指標、マイナスの指標は、中小企業DI（全業種）（3ヵ月連続）、いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI（4ヵ月連続）等の3指標であった。

【一致指数】3月は75.9ポイントで、3ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、高速道路出入交通量（3ヵ月振り）、いわき市中小企業融資残高（3ヵ月振り）等の7指標、マイナスの指標は、公共工事受注額（5ヵ月連続）、鉱工業出荷指数（4ヵ月連続）の2指標であった。

【遅行指数】3月は82.4ポイントで、2ヵ月連続で下降した。

寄与度がプラスの指標は、いわき市中小企業融資利率（2ヵ月連続）、いわき市中央卸売市場取扱高（2ヵ月振り）等の3指標、マイナスの指標は、入湯税調定人員（2ヵ月連続）、雇用保険受給者実人員（逆）（3ヵ月振り）等の5指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

#### ③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年＝100）

区 分	令和3年									令和4年			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
<b>先行指数（C I）</b>	90.0	88.1	92.6	94.7	87.8	85.1	87.4	90.4	99.1	102.1	92.5	99.6	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	1.72	-1.90	4.51	2.16	-6.90	-2.73	2.27	3.01	8.68	3.05	-9.60	7.06	
先行系列寄与度内訳	1. 自動車新規登録台数	0.94	-1.37	-1.27	1.25	-0.93	-3.13	0.38	3.47	-0.67	0.48	-0.42	1.00
	2. 新設住宅着工戸数	0.07	0.57	-0.41	-0.90	0.74	0.08	0.30	-1.09	1.99	2.60	-3.66	1.78
	3. 建築確認申請受付件数	-1.66	1.30	-0.18	-0.95	-0.40	1.20	-0.21	0.32	-1.07	0.67	-2.03	2.43
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	-0.46	-1.12	0.21	0.98	-0.17	-0.78	-0.05	0.25	1.90	0.23	-2.15	1.25
	5. 中小企業DI（全業種）	0.03	0.03	3.30	-0.04	-0.04	-2.05	0.00	0.00	2.95	-0.04	-0.04	-1.68
	6. 新規求人倍率	2.87	-1.69	2.88	1.79	-3.46	1.82	1.73	-3.35	3.57	-0.89	-1.19	2.42
	7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.04	0.36	-0.04	-0.04	-2.80	0.02	0.02	3.33	-0.06	-0.06	-0.05	-0.05
	8. 一致指数トレンド成分	-0.04	0.02	0.04	0.08	0.16	0.11	0.10	0.09	0.07	0.07	-0.06	-0.08
<b>一致指数（C I）</b>	67.3	67.8	72.1	76.6	72.8	76.3	80.5	82.4	83.1	77.2	72.6	75.9	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	0.03	0.49	4.29	4.50	-3.73	3.46	4.18	1.92	0.70	-5.91	-4.58	3.27	
一致系列寄与度内訳	1. 公共工事受注額	0.09	-0.12	-0.28	0.21	-0.01	0.23	0.84	-0.17	-1.00	-0.15	-1.40	-1.38
	2. 観光施設利用者指数	-0.43	-0.27	0.63	1.37	-1.37	0.34	1.44	0.46	0.61	-0.81	-1.38	0.78
	3. 大型小売店等販売額	-0.95	0.19	-0.60	1.38	-0.84	0.45	0.15	-0.11	0.08	-1.04	0.10	0.85
	4. 鉱工業生産指数	1.23	0.72	-0.06	0.06	-0.13	0.18	-0.28	0.37	-0.50	-1.47	0.00	0.00
	5. 鉱工業出荷指数	0.29	0.37	1.17	0.17	-1.38	1.23	0.25	0.66	-1.01	-1.48	-0.00	-0.00
	6. 小名浜港輸出入通関実績	0.02	0.03	0.26	0.09	0.62	0.19	0.07	-0.72	0.45	0.49	-0.66	0.53
	7. いわき市中小企業融資残高	0.22	0.11	1.06	0.67	0.76	-0.13	0.26	1.52	0.41	-0.58	-0.60	1.01
	8. 有効求人倍率	0.04	0.14	0.80	0.59	-0.12	-0.49	-0.08	-0.85	0.52	0.52	0.57	0.47
	9. 高速道路出入交通量	-0.49	-0.69	1.30	-0.05	-1.27	1.47	1.53	0.76	1.14	-1.39	-1.21	1.02
<b>遅行指数（C I）</b>	75.9	80.2	76.9	80.3	79.9	79.3	82.7	85.1	85.0	86.9	84.2	82.4	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-2.09	4.05	-2.78	3.54	-0.58	-0.81	3.17	2.27	-0.60	3.78	-2.85	-1.95	
遅行系列寄与度内訳	1. 入湯税調定人員	-1.68	0.86	0.08	1.84	0.71	-1.82	1.92	0.36	0.33	0.22	-0.56	-1.91
	2. いわき市中央卸売市場取扱高	0.60	0.51	-0.99	1.79	-1.82	0.85	1.89	0.27	-0.50	1.40	-1.35	0.56
	3. 鉱工業在庫指数	0.41	0.24	-0.49	-0.10	0.17	0.16	0.30	0.08	0.55	-1.88	0.12	0.10
	4. いわき市中小企業融資利率	0.49	-0.01	-0.10	0.09	-1.11	0.27	0.01	0.90	-0.01	-0.46	0.00	0.83
	5. いわき手形交換所交換高	-0.20	0.91	-1.21	-0.22	1.33	-0.77	0.11	0.00	0.07	0.45	-0.40	-0.33
	6. 法人市民税調定額	0.28	0.51	-0.10	-0.32	0.36	-0.10	-0.78	0.25	-0.07	1.28	-0.57	-0.28
	7. 雇用保険受給者実人員（逆）	-1.54	1.24	-0.50	0.30	-0.19	0.67	-0.07	0.41	-0.49	0.83	0.08	-0.75
	8. 一致指数トレンド成分	-0.04	0.02	0.03	0.06	0.14	0.10	0.09	0.09	0.06	0.06	-0.05	-0.07

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

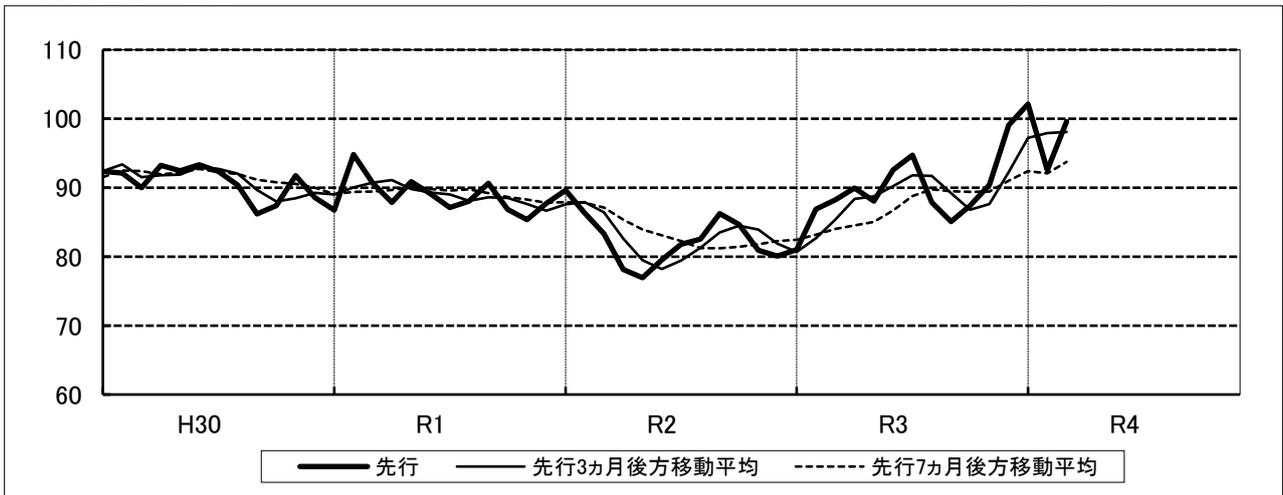
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

#### ④ CIの推移

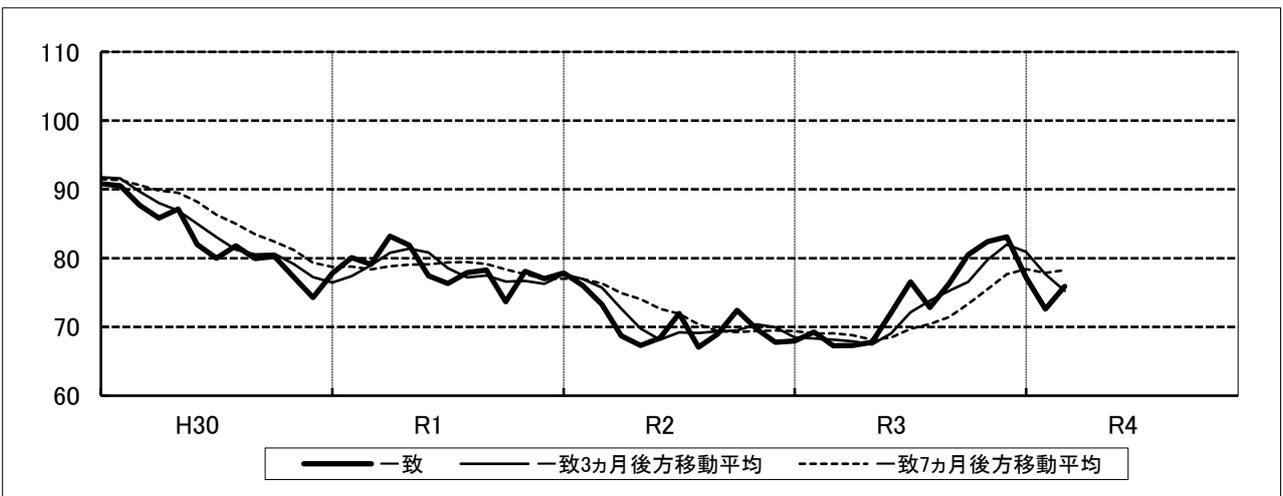
##### ・先行指数の推移

(平成27年=100)



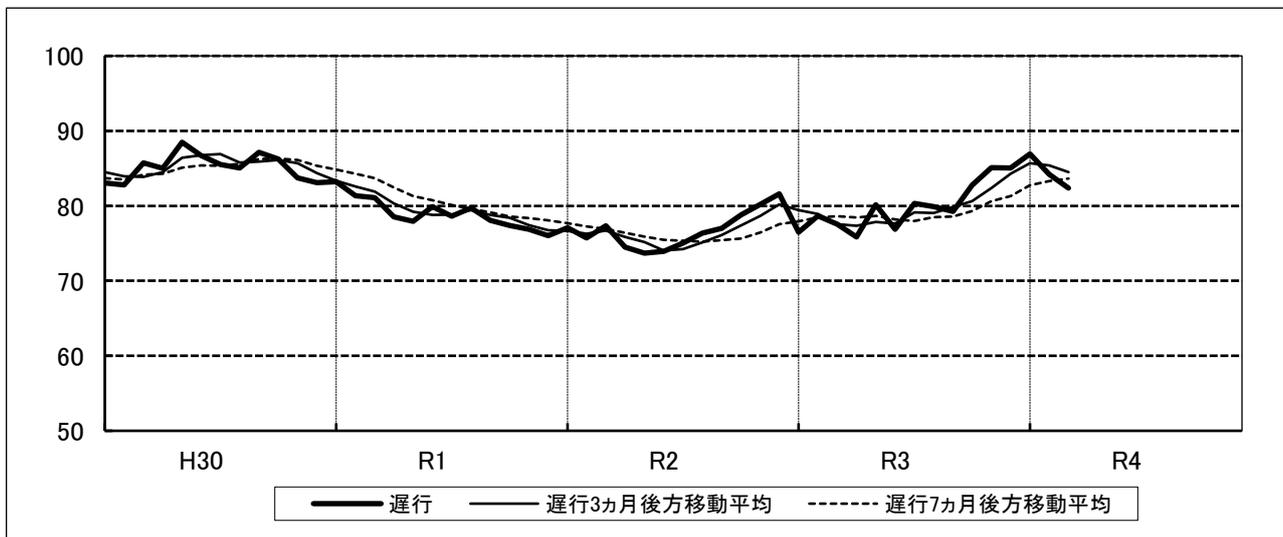
##### ・一致指数の動向

(平成27年=100)



##### ・遅行指数の動向

(平成27年=100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
25	102.0	105.6	109.6	105.8	111.3	111.4	118.5	118.9	113.6	113.4	123.0	118.5
26	118.7	127.3	125.6	108.2	116.9	111.1	111.9	111.0	110.3	109.9	105.1	110.0
27	109.7	101.2	105.5	99.8	97.2	100.2	99.8	98.7	98.5	98.6	98.1	92.8
28	93.5	88.4	83.7	90.5	89.7	86.2	91.9	87.4	82.0	85.7	85.0	86.2
29	86.1	86.6	84.6	88.1	85.0	92.8	85.5	90.5	96.5	91.1	89.2	95.6
30	92.4	92.1	90.0	93.2	92.4	93.3	92.4	90.4	86.2	87.4	91.7	88.6
1	86.7	94.8	90.6	87.9	90.9	89.1	87.1	88.1	90.6	86.8	85.4	87.7
2	89.6	86.4	83.3	78.1	76.9	79.5	81.8	82.5	86.2	84.7	80.9	80.1
3	81.0	86.9	88.2	90.0	88.1	92.6	94.7	87.8	85.1	87.4	90.4	99.1
4	102.1	92.5	99.6									

・一致指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
25	100.0	100.2	102.2	100.3	104.1	100.1	101.9	106.0	101.3	101.3	105.6	105.6
26	106.1	101.2	107.7	99.9	101.7	103.9	105.0	108.5	106.6	106.6	102.2	100.1
27	103.0	101.8	100.7	102.3	101.6	99.9	101.1	101.0	101.1	97.1	95.8	94.7
28	94.1	93.2	87.3	89.9	87.3	90.3	91.1	88.0	90.6	94.9	97.5	98.6
29	96.2	96.1	96.9	95.4	97.7	95.9	91.4	92.8	91.5	89.4	91.0	93.5
30	90.8	90.5	87.7	85.9	87.1	82.0	80.0	81.8	79.9	80.3	77.2	74.3
1	77.8	80.1	79.1	83.2	81.9	77.4	76.3	77.9	78.3	73.7	78.1	77.0
2	77.8	76.0	73.3	68.7	67.3	68.4	72.0	67.1	69.0	72.4	69.7	67.8
3	67.9	69.2	67.3	67.3	67.8	72.1	76.6	72.8	76.3	80.5	82.4	83.1
4	77.2	72.6	75.9									

・遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
25	98.0	100.6	98.8	104.6	98.7	96.7	100.3	99.1	100.0	96.8	98.4	97.7
26	98.1	99.9	99.4	99.5	102.3	104.1	99.3	99.0	97.6	98.1	98.0	100.3
27	99.8	100.4	105.5	102.7	101.9	99.2	100.6	99.8	98.8	98.4	97.7	95.1
28	94.7	98.4	94.1	93.2	93.7	90.8	90.4	92.6	90.3	92.5	89.2	88.7
29	91.4	85.6	89.2	87.0	84.1	83.6	83.8	81.3	84.1	83.1	84.4	86.1
30	83.0	82.8	85.8	85.0	88.5	86.7	85.5	85.1	87.1	86.2	83.7	83.1
1	83.2	81.4	81.1	78.5	78.0	79.9	78.6	79.7	78.1	77.4	76.9	76.0
2	77.1	75.7	77.3	74.5	73.7	74.0	75.1	76.3	77.0	78.8	80.2	81.6
3	76.5	78.7	77.5	75.9	80.2	76.9	80.3	79.9	79.3	82.7	85.1	85.0
4	86.9	84.2	82.4									

(2) DI (デフレーション・インデックス)

① 概要

【先行指数】 3月は、50.0%と保ち合いとなった。

【一致指数】 3月は、33.3%と2ヵ月連続で50%を下回った。

【遅行指数】 3月は、57.1%と2ヵ月振りに50%を上回った。

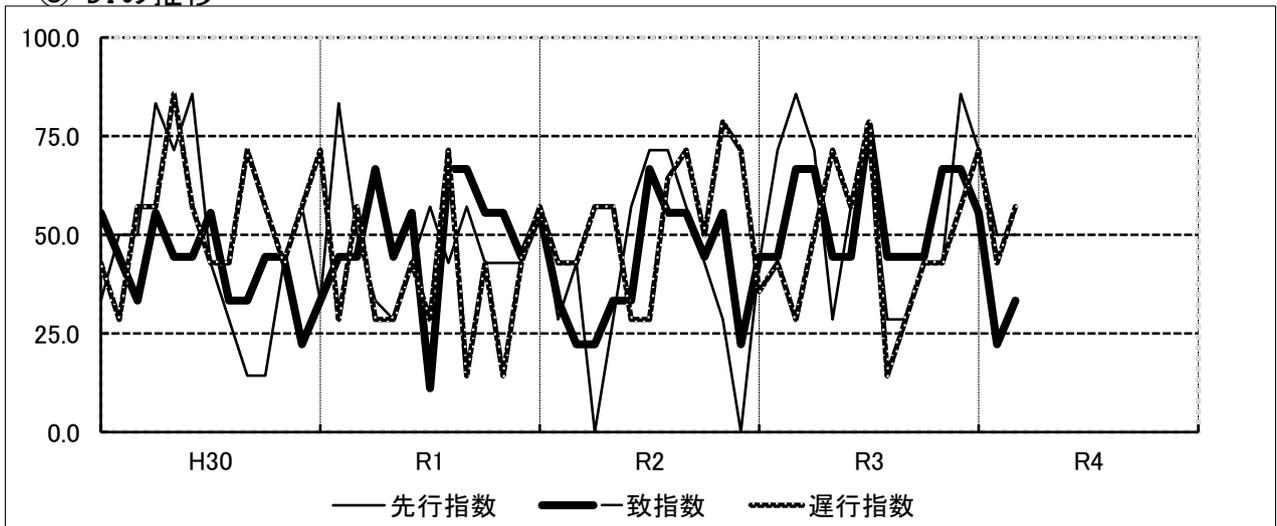
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (-景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

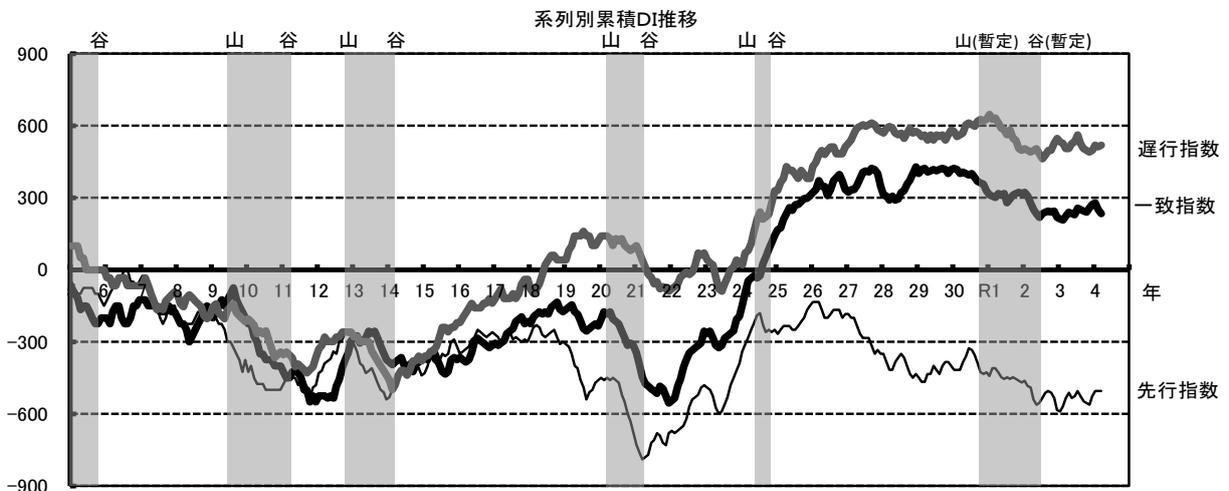
区 分	令和3年									令和4年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
先行指数 (D . I)	71.4	28.6	57.1	71.4	28.6	28.6	42.9	42.9	85.7	71.4	50.0	50.0
一致指数 (D . I)	66.7	44.4	44.4	77.8	44.4	44.4	44.4	66.7	66.7	55.6	22.2	33.3
遅行指数 (D . I)	50.0	71.4	57.1	78.6	14.3	28.6	42.9	42.9	57.1	85.7	42.9	57.1

注)DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-100を、遅行指数に100を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

## -景気動向指数利用の手引き-

### (1) 景気動向指数の概要

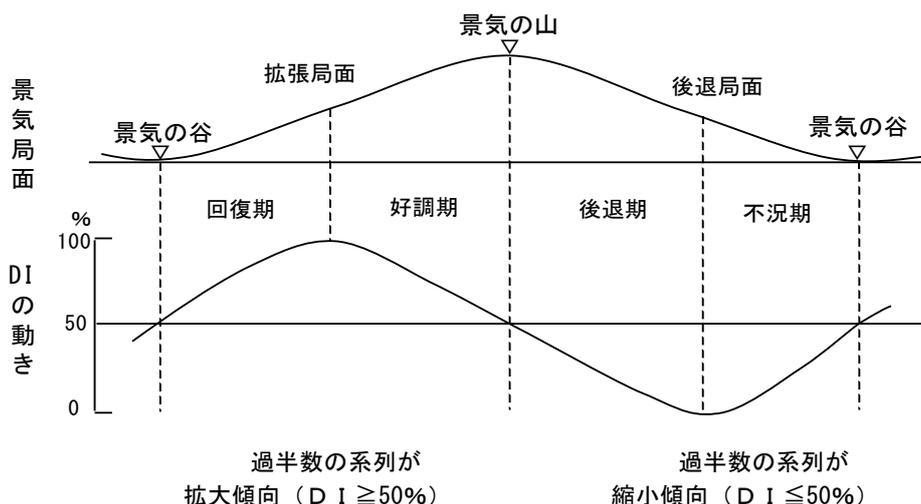
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方角性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

### (2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ [http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu\\_di.html](http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.html)を参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

### (3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば  $3 \div 9 = 0.333$  (DI=33.3%) と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



### (4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10(暫定)	R2. 5(暫定)

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項 目		内 容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合ー減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワークいわき
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業創出課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第I四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業創出課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業創出課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通過して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワークいわき
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	5 いわき手形交換所交換高	前	手形の交換高には、企業の取引活動の活発さが反映される。	いわき手形交換所
	6 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	7 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワークいわき

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均

逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

## 【参考】国・県の動き

### 1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、持ち直しの動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費は、このところ持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・輸出は、おおむね横ばいとなっている。</li> <li>・生産は、持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・企業収益は、感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。</li> <li>・雇用情勢は、持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・消費者物価は、このところ上昇している。</li> </ul> <p>先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、中国における感染再拡大の影響やウクライナ情勢の長期化などが懸念される中で、供給面での制約や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。</p> <p>(内閣府「月例経済報告」令和4年5月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費……一部に持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・建設需要……堅調な動きがみられる。</li> <li>・生産活動……一部に弱い動きがみられる。</li> <li>・雇用・労働……厳しい状況にあるものの、緩やかな改善がみられる。</li> <li>・物価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。</li> <li>・企業・金融……企業倒産件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。</li> </ul> <p>(福島県「最近の県経済動向」令和4年5月公表分)</p>

### 2 景気動向指数(CI)

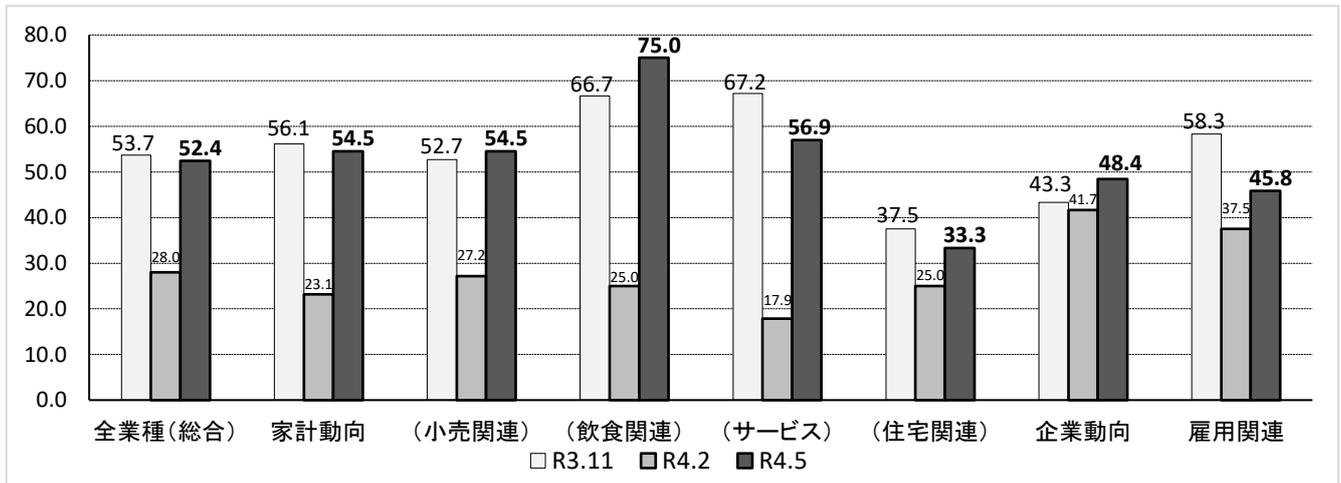
(1) 国の動向	<p>3月のCI(速報値・平成27(2015)年=100)は、先行指数:101.0、一致指数:97.0、遅行指数:95.7となった。</p> <p>先行指数は、前月と比較して0.9ポイント上昇し、3ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.63ポイント下降し、2ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.09ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。一致指数は、前月と比較して0.2ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.03ポイント上昇し、5ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.60ポイント上昇し、5ヵ月連続の上昇となった。遅行指数は、前月と比較して0.6ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.26ポイント上昇し、4ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.22ポイント上昇し、3ヵ月ぶりの上昇となった。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和4年5月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概括</p> <p>3月の景気動向指数(CI:コンジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数107.1ポイント、一致指数70.9ポイント、遅行指数94.4ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(100.8ポイント)を6.3ポイント上回り、3ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月(73.9ポイント)を3.0ポイント下回り、3ヵ月振りの下降となった。</p> <p>遅行指数は、前月(94.4ポイント)から前月差が0.0ポイントとなった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <p>寄与度をみると、所定外労働時間指数が2ヵ月連続のマイナス、鉱工業生産指数が2ヵ月振りのマイナス、生産財出荷指数が3ヵ月振りのマイナス、百貨店・スーパー販売額(既存店)が4ヵ月振りのマイナス、有効求人倍率が5ヵ月振りのマイナスになった。</p> <p>一方、建築着工床面積(鉱工業)が4ヵ月連続のプラス、雇用保険受給者実人員、最終需要財出荷指数が2ヵ月連続のプラス、手形交換金額(1枚当たり)が2ヵ月振りにプラスになった。</p> <p>内訳をみると、生産財出荷指数がマイナス1.81ポイント、有効求人倍率がマイナス0.89ポイント、鉱工業生産指数がマイナス0.86ポイントでこれらの指標の動きが下降に寄与した。</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」令和4年5月公表分)</p>

## Ⅱ いわき市景気ウォッチャー調査：令和4年5月時点

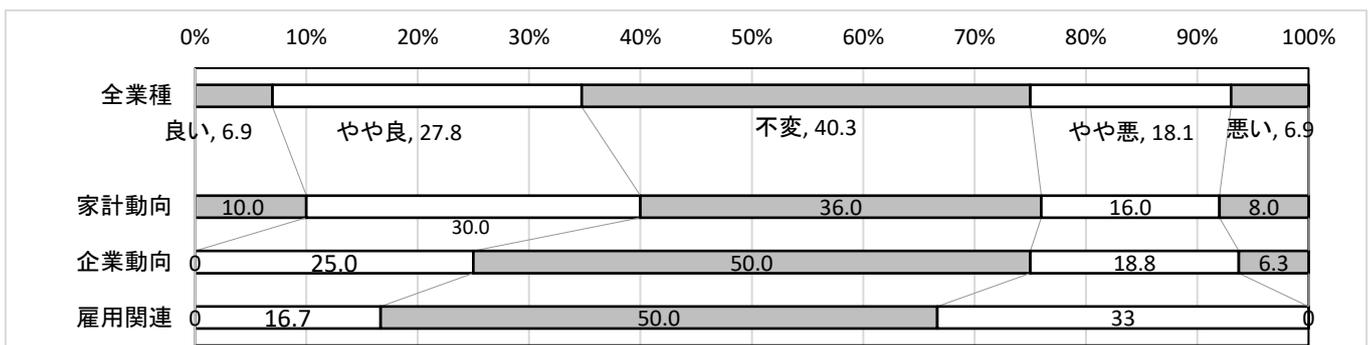
### 1 景気の現状について

#### (1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは52.4と、前回より24.4ポイント上昇した。家計・企業・雇用関連のすべてで上昇した。
- 主要業種別では、家計動向関連が54.5と前回より31.4ポイント上昇した。家計の内訳では小売、飲食、サービス、住宅のすべてで上昇した。企業動向関連は48.4と6.8ポイント上昇し、雇用関連は45.8と8.3ポイント上昇した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は6.9%であり、「やや良くなっている」が27.8%、「変わらない」が40.3%、「やや悪くなっている」が18.1%、「悪くなっている」が6.9%となった。



#### (2) 現状判断の理由

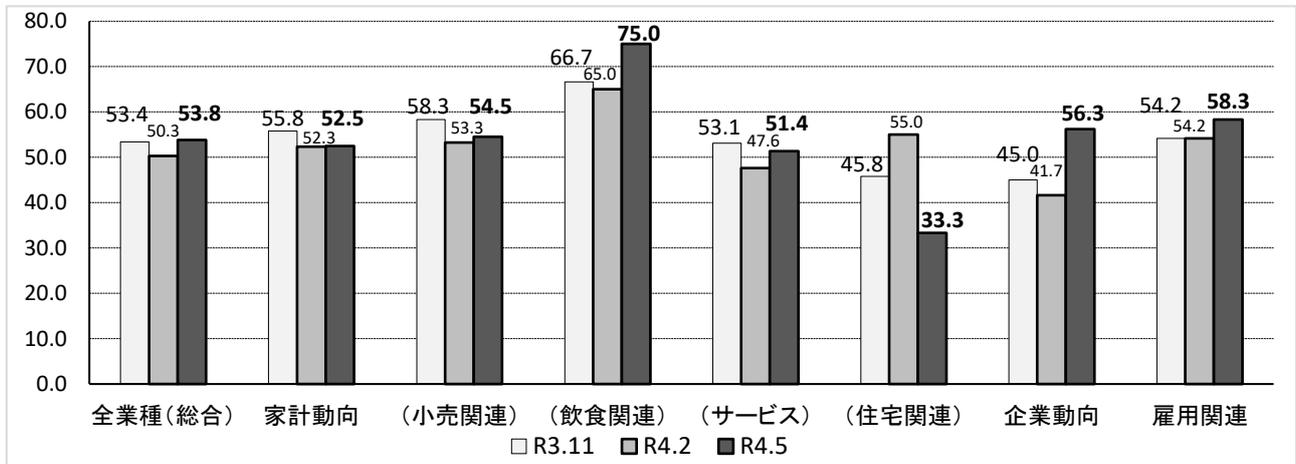
現状判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	11	8	6	25	1. 受注量や販売量	3	5	3	11	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	7	4	4	15	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	0	1	2	3	3. 取引先の様子	0	3	1	4	3. 採用者の動き	0	1	0	1
4. お客様の様子	2	3	0	5	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	1	0	1	2
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	1	1	2
6. その他	0	2	0	2										
合計	20	18	12	50	合計	3	8	4	15	合計	1	3	2	6

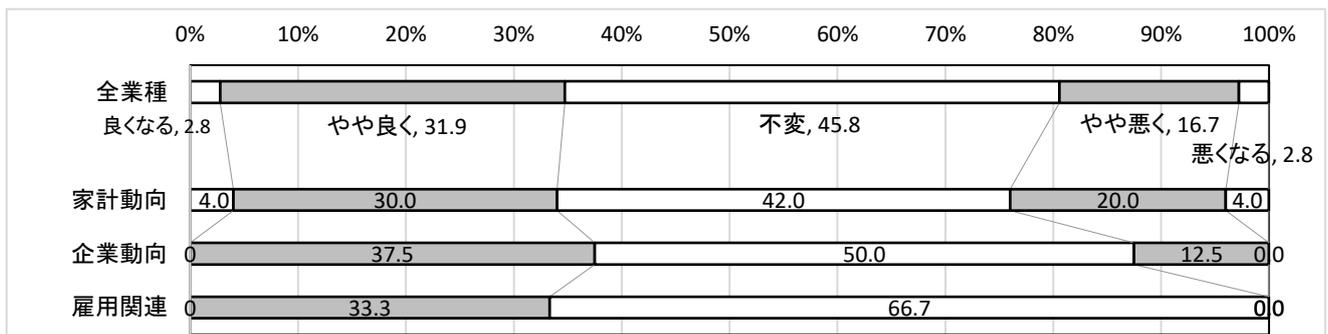
## 2 景気の先行きについて

### (1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは53.8と、前回より3.5ポイント上昇した。家計・企業・雇用関連のすべてで上昇した。
- 主要業種別では、家計動向関連が52.5と前回より0.2ポイント上昇した。家計の内訳では小売・飲食・サービスが上昇し、住宅は低下した。企業動向関連は56.3と14.6ポイント上昇し、雇用関連は58.3と4.2ポイント上昇した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は2.8%であり、「やや良くなる」が31.9%、「変わらない」が45.8%、「やや悪くなっている」が16.7%、「悪くなっている」が2.8%となった。



### (2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	8	11	1	20	1. 受注量や販売量	4	4	0	8	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	4	3	4	11	2. 受注価格や販売価格	0	1	0	1	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	1	1	3	5	3. 取引先の様子	2	3	2	7	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	3	4	2	9	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	1	1	0	2
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	1	2	0	3
6. その他	1	2	2	5										
合計	17	21	12	50	合計	6	8	2	16	合計	2	4	0	6

### 3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。

記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。

また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

#### (街の様子・景気、消費の動向等)

- 景気に左右されにくいいため変化は少ない。顧客企業の中で飲食・観光等コロナの影響を受けている処は回復のきざしが見られる。
- コロナとも少しづつ共存する形となり、初期と比べ理解も深まり、少しづつ経済を回して行こうというゾーンに入っていると思う。
- コロナ自粛緩和もあり来街者も徐々に増えており全体的には物販店や飲食店なども少しずつだが活気がでてきた感があるように思う。
- まん延防止等重点措置の緩和により、特に夜間の利用が、いくらか戻りつつある。
- 飲食店に関しては、コロナ慣れした消費者が出て歩くようになったと感じている。宿泊業者もビジネスホテルなどは忙しいと聞いているが、簡易宿泊所は今一番苦しそうに見える。建設業や製造業は半導体不足により受注がスタックしているようで、運転資金を融資により調達しなければならない、という相談を受けることが多くなった。補助金ジブシーも増加していると感じる。
- 建築元請けは、見積り～着工までの間に急激な原価上昇があると大変苦労する。今回は年度変わりの補助金終了(すまい給付金・住宅ローン控除)によるかけこみが重なりとても苦労した。
- 駅前地区は、人の流れが悪い。週末は、人も車も全然来ない。
- コロナ禍において商店街への客足はまだもどらず、人流が減ったままの状態である。
- コロナ感染の状況により、地域の行事や学校行事が左右され、関係消費が変動してしまう。
- いわきの環境、浜街道の説明等。

#### (今後の見通し等について)

- 今後受注価格や販売価格の値上がりはあるかと思うが、ウイズコロナ下で、様々な業種に活気が戻って来ると思われる。インフレの流れは、今まで何十年も止まっていた景気に日本経済が好転するチャンスではないかと秘かに期待をしている。
- 厳しい状況が続いているが、コロナ後の早期回復を期待したい。
- 県民割、Gotoトラベル等、各種観光需要喚起策の継続に期待する。
- コロナ禍の規制緩和は、市場の活性化に大いに影響し、明るいきざしと期待がもてる。
- コロナも大分落ち着いて来て人流が戻りつつあり、今後景気が良くなると思う。
- 市内の感染も収束してきたので今後多少は良くなると思われる。
- 市内の若者、観光客(宿泊型)を呼び込む工夫をしたい 放射線の風評被害を逆手にとる。
- 物価上昇により仕入単価が値上がりし、利益を押し下げている。また日常生活用品の値上がりにより、節約志向、買い控えにより、個人消費の低下が見られる。このことから、外食、旅行などの消費は伸び悩みとなり、回復には時間がかかる。
- テナントの退去が相次いでいることから、先行きは暗いと感じている。SC(ショッピングセンター)の在り方として、消費動向の変化に対応した変革の必要性を感じている。
- 所帯収入が減少傾向に比し、生活基本支出(公共料金・教育費etc)の大幅な増加、食費関連の単価up等、消費マインドの悪化が急激に進む懸念を感じている。
- コロナに加え半導体問題、ウクライナ問題に起因する原材料の高騰は根深く、少しでも好転する事を願っている。
- 物価の変動が消費者マインドを刺激しているのでは・・・これからどうなるかが心配される。
- ウクライナでの戦争、物価高騰、コロナ禍による新生活スタイルの浸透による外出の手控等で景気は悪くなる。
- 何に関しても高騰が続く間は先が見通せない。
- 入札案件数、各自治体の年間計画、予算取り等より判断。

## - いわき市景気ウォッチャー調査の概要 -

### (1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

### (2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連77人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計108人を調査客体とする。今回（令和4年5月）の調査の回答数は72人（有効回答率66.7%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	77人	71%	50人	
小売関連	34人	31%	22人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	7%	4人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	26人	24%	18人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	6人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	16人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	6人	人材派遣、職業紹介等
合計	108人	100%	72人	

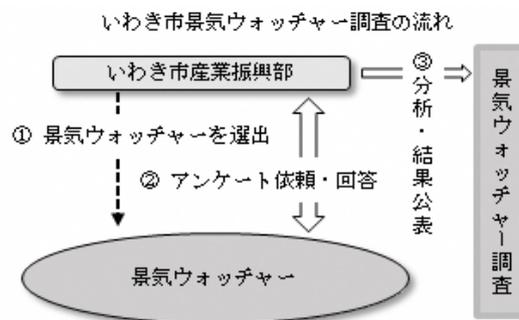
### (3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

### (4) 調査方法

いわき市産業創出課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業創出課と外部調査機関（㈱社会システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業創出課が原則として調査の翌月に公表する。



### (5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることにより D I を算出する。

D I は50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3ヵ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3ヵ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票 (令和 年度第 回)

令和 年 月 日

ご回答者

ご所属・お名前 \_\_\_\_\_ 様

あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。

該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。

<b>【質問1】</b> 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思 いますか、悪くなっていると思いませんか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
<b>【質問2】</b> 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目し ましたか？ 1つお答えください。	1 採客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
<b>【質問3】</b> あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、 2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いま すか、悪くなっていると思いませんか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
<b>【質問4】</b> 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目し ましたか？ 1つお答えください。	1 採客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
<b>【自由回答（市内景気動向に関して）】</b>	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外



---

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業創出課  
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地  
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 1 1 2 6 (直通)  
e-mail : [sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp](mailto:sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp)

---